

水辺の環境改善の取り組み状況

1 「日本橋川周辺の賑わい創出に向けた基本方針(取組方針 Ver.1)」(東京都)の策定

東京都は、令和7年7月に「日本橋川周辺の賑わい創出に向けた基本方針(取組方針 Ver.1)」を策定した。

千代田区と中央区は、東京都とともに、日本橋川の水質を改善し、人々が集うまちづくりを検討し、実施する。

環境政策課は、水質の改善、生物多様性の観点から、本取組に関して、今後、水質モニタリングなどの調査を行う。

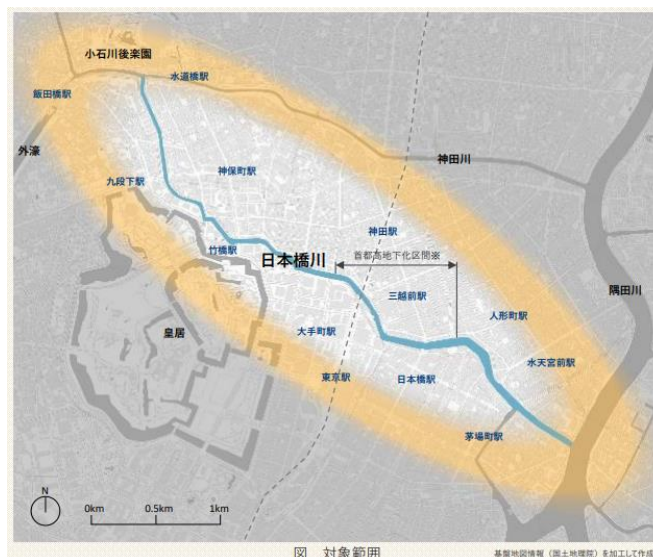


図 対象範囲

基盤地図情報(国土地理院)を加工して作成

【取組方針 抜粋】

3 日本橋川周辺のまちづくりの将来像

歴史と未来に出会える、日本橋川
 ～日本橋川を中心とした新たな水の都の創造～

地元の祭りとの連携

水辺空間で祭り

江戸東京文化を
継承・発展させながら
まちづくりにいかす

江戸城石積
(常盤橋御門跡)

重要文化財
(三井本館)

きれいに なった日本橋川で
水と緑に親しめる環境を創出

親しめる水質に改善

生き物観察会

水辺を **つなぐ** 歩行者と舟運
ネットワークを形成

連続的な歩行者空間

舟運ネットワークの充実

集い・つながることで官民連携に
よりまちが新しいコトを **うみだす**

新技術等の実験場
(モバイルグリーンなど)

新しい産業拠点を形成
(宇宙産業など)

川を軸とした魅力的な水辺空間
に人々が **集う** まち

高架橋ライトアップ

歴史資源をいかす

出典 水辺空間で祭：品川区 いきもの観察会：東京都建設局
 出典 高架橋ライトアップ：八重山日報社 2019年4月13日付

きれいに 水と緑に親しめる環境を創出

人々が水辺に近づくことができるような水環境の創出、水生生物の生息環境の改善を目指し、水質改善とみどりの形成を通じて、日本橋川の自然資源としての価値の更なる向上に取り組む。生物観察や環境学習を楽しむことができる空間や機会をつくる。

2 外濠の水辺再生事業

(1)位置づけ

東京都

「都市づくりのグランドデザイン」(平成29年9月)

→「2050 東京戦略」(令和7年3月21日)

外濠浄化 基本計画『外濠浄化プロジェクト』

- ① 導水(水道局、下水道局) 2030年代半ば
- ② 下水道貯留管整備(下水道局)※一部稼働済
- ③ 暫定対策(建設局)

普及啓発(都市整備局)子供向け勉強会(小学校)

関連計画

『日本橋川の賑わい創出に向けた検討会』(令和6年～)
外濠下流の日本橋川の水質改善にも効果を見込む

千代田区

令和4年～千代田区で実施

追加対策 臭気の原因調査

普及啓発
・子供向け勉強会@番町小学校 9月10日予定
・外濠水質改善見学会 9月20日予定
・学生向けワークショップ 8月21日実施

(2)現状と課題

アオコが増える原因

水の流れがない(停滞水域)
豊富な栄養源(リン、窒素)
気温上昇

夏場(6月頃～)
アオコが増殖

景観悪化、悪臭発生

(3)普及啓発

ア 学生向けワークショップ

実施日:8月21日(木)16時半～ 2時間程度

参加者:大学生17名 (4グループに分けて実施)

内 容:外濠公園から外濠見学、
グループワーク(ブレインストーミング)、発表

主な意見(生物関連):

- ・生態系の観察会
- ・外来種の駆除、在来種の保全 (テナガエビの養殖)
- ・アオコの2次利用(たい肥化)
- ・四季の花を植え、楽しめる空間造り
- 他



イ 外濠水質改善見学会

実施日:9月20日(土)15時～(予定)

定 員:24名

内 容:区実施の暫定対策について講義、水質実験、
外濠見学(乗船)

